



▲延べ17万人が訪れた第1回枚方まつり(昭和51年)



枚方まつり

20年近く親しまれた「淀川まつり」を受け継ぎ、市民主体の祭りとして昭和51年に始まりました。現在は毎年8月、2日間にわたり枚方市役所周辺で行われ、約10万人が訪れる枚方最大の祭りとして親しまれています。



ふとん太鼓

五穀豊穡を願い約300年前に始まったといわれる伝統行事。現在も毎年10月「エラサッカー」の掛け声とともに市駅周辺を4町のみこしが練り歩きます。

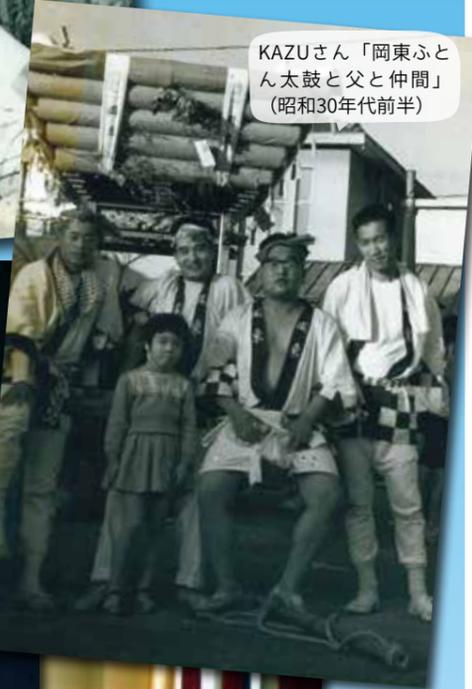


湯浅博さん「宮之阪1丁目地蔵盆」(昭和45年~50年頃)

芝ゆきさん「菊丘南町にある松下電器工学院(当時)のグラウンドで開催されたボイススクウトのイベントで撮影した写真です。北河内地区からたくさんの方々が集まり、友情ゲームや野外活動のスキルを競うプログラムを楽しみました。後ろに写っているのが松下電器体育館で、当時としては斬新なデザインで話題を呼びました(昭和47年2月)



佐藤進さん「枚方~伊加賀三和のタイコダイ(フンダイコ)」(昭和30年秋)



KAZUさん「岡東ふとん太鼓と父と仲間」(昭和30年代前半)



雲川令子さん「第2回宮之阪七夕まつりの写真です。今年29回を数え、大勢の人たちでにぎわう宮之阪七夕まつりも、平成元年に住民有志が、通りに十数本の七夕笹を飾り付けて始まりました。翌年その中心の京都信用金庫前広場に頑丈な鉄の枠組みが作成され、皆で協力して6メートルの大竹4本を立て、七夕飾りを取り付けました」(平成2年7月)



萌々香さん「母とおばの家族とみんなで近所(須山町)のお祭りに行きました。浴衣や甚平を着ておます。この時にすくった金魚はまだ元気に泳いでいます」(平成15年8月)



石田智則さん「枚方宿ジャストリート2007を見学した後、仲良し3人組で大阪城公園までアクアMiniに乗り、好天に恵まれ思わずシャッターをパチリ。ひらかたパークの観覧車が建設中のマンションの影からそいでおり、良い思い出の写真となりました」(平成19年11月)



保坂さん「枚方市役所近くの公園で開催されていたイベントで友達と撮った写真です。屋台が出ていたり、チマチヨゴリが着れる体験ブースがあったりと楽しかったです」(平成28年5月)



BOW & JOSHさん「牧野公民館での第1回ひらかた人形劇フェスティバルで師匠との1コマ。人形劇フェスティバルも今年で29回目を迎えると聞いて、月日の流れを感じました」(平成2年)

楽しいお祭り



伝統行事から市民が創り出した新たなお祭りまで、イベントが盛りだくさんの枚方市。地元を盛り上げたいという市民パワーにあふれています。